

1. これまでの流れ

2100年に向け、人口減少に合わせて施設を再編し、施設総量の適正化を実現するとともに、「生きがい」や「人とのつながり」を育む環境整備にも取り組むこととしてきた。

- ⇒①公共施設・再編整備計画（R5.12）
- ②アクションプラン実践に向けた取り組み（R6.12）

2. 当面取り組む公共施設整備事業 ※詳細後述

	施設名称（設置場所）
スポーツ	①球技場(葛西南部)
	②共生型陸上競技場(葛西南部)
	③共生型複合スポーツ施設(くつろぎの家)
文化	④新しいスタイルの図書館を含む複合施設(船堀再開発ビル)
子ども	⑤障害のある子が主役になれる拠点(鹿本育成室)
	⑥日光林間学校(日光)

2. ①球技場

陸上競技場の改修

- 現在は、トラック競技やフィールド競技などが競合し、**飽和状態**となっている
- 区民のスポーツ環境の更なる充実や、施設の老朽化への対応が課題となっている
- Jリーグやリーグワンなど、プロスポーツ等の試合開催に必要な設備や環境を備えた**球技場**へ改修（座席数15,000席以上）
- 感動や興奮を共有したり、一緒に応援することで、コミュニティ形成やシビックプライドの醸成につながる

一流のプレーを間近でみることができる施設で、区民のみるスポーツ環境を充実



スピアーズえどりくフィールド（陸上競技場）

問合せ：スポーツ振興課スポーツ係 03-5662-1636

3. ②共生型陸上競技場 ③共生型複合スポーツ施設

本区の掲げる「パラリンピック22競技できる宣言」をさらに充実させるための環境整備

【共生型陸上競技場】

葛西南部地域に、3種公認レベルの陸上競技場をはじめ、様々なパラスポーツが実施できる環境の整った「パラスポーツの拠点」を整備する



【共生型複合スポーツ施設】

くつろぎの家跡地に、隣地の清掃工場からの熱源を有効活用した温水プールや体育館等を備えたスポーツ複合施設を整備



両施設とも、障害がある人も気兼ねなく利用することができる「**共生型**」の施設とする

年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツや運動ができる環境を整備し、共生社会の実現を目指す

問合せ：スポーツ振興課スポーツ係 03-5662-1636

④新しいスタイルの図書館を含む複合施設

2100年の江戸川区

船堀駅前地区
まちづくり
基本構想

文化・
スポーツ
基本構想

江戸川区立
図書館
基本計画



江戸川区のにぎわいと交流の拠点に

ライブラリー
機能

にぎわい・
交流機能

文化・スポーツ
機能

検討会の設置

コンセプト、区民意見の聴取方法などの検討・整理

問合せ：文化課文化振興係 03-5662-0300

⑤障害のある子が主役になれる拠点

障害者手帳所持児童数 **2,552人**
 医療的ケア児数 **125人**
 LTC*の子ども **約200人**

*Life Threatening Conditionの略。生命を脅かすような状態にある子ども。

「遊び」「文化」「スポーツ」等の「体験」
 を保証する障害のある子にとっての
“第三の居場所”



公表 R7.10～12 事業者選定 R8 設計 R9～11 解体・建設 竣工

設置予定場所：**現鹿本育成室**（本一色2丁目10番15号）

設置運営手法：**区有地を活用した民設民営**

問合せ：障害者福祉課計画調整係 03-5662-0044

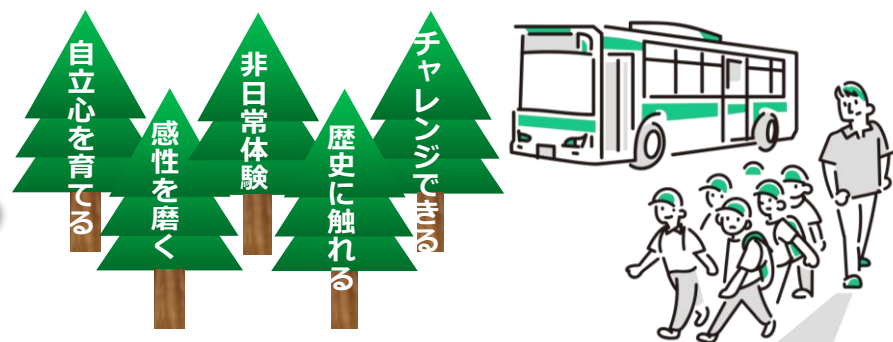
⑥日光林間学校

○現状の課題を鑑み、日光林間学校の再建が必要と判断
【課題】

児童・生徒	集団行動(キャンプファイヤー、飯盒炊飯等)への制限 児童・生徒の多い学校は宿泊施設が分かれている 宿泊先の違いによる体験内容の違い
保護者	物価高騰による金銭的負担の増 宿泊先の違いによる体験費用の違い
教員	宿泊先や各種体験の選定・手配の手間

(仮称)江戸川区立日光林間学校 整備指針 の策定

- ◎ 児童・生徒が非日常的な体験活動や日光の歴史に触れる拠点となるような施設
- 学校が利用しない期間は、スポーツ団体・文化団体等の合宿利用や、家族・仲間同士での利用等もできる施設



公表 R7～ 民間提案制度 R8～9 基本計画策定 竣工

問合せ：学校施設課管理係 03-5662-1623